



第34回上田八木・金融政策サーベイ(2020年4月)

発表日：2020年4月24日 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2020年4月21日～23日
調査先	172先
回答率	82.0%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(4月27日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月17日)	変化幅
緩和	40 (構成比%)	6	+34
不変	60	94	▲34
引締	0	0	±0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲40	▲6	▲34

(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月17日)	変化幅
低下	7	9	▲2
不変	89	86	+3
上昇	4	5	▲1
短期金利予想DI	▲3	▲4	+1

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月17日)	変化幅
低下	10	10	±0
不変	83	84	▲1
上昇	7	6	+1
2年国債金利予想DI	▲3	▲4	+1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月17日)	変化幅
低下	10	14	▲4
不変	78	75	+3
上昇	12	11	+1
10年国債金利予想DI	2	▲3	+5



第34回上田八木・金融政策サーベイ(2020年4月)の結果について

～全回答者(141先)の40%が今回のMPMでの追加緩和を予想。3ヶ月先の金利予想では、全ての年限において「不変」と予想する先が前回・前々回同様大多数を占める結果となった。

2020年4月24日
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(141先)の40%が今回のMPMでの追加緩和を予想。上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲40と、第6回調査(2016年9月)以来の大幅低下となった。
- 3か月先の金利予想では、10年国債金利において「低下」と予想する先がやや減少した(14%→10%)ものの、前回・前々回に続いて「不変」と予想する先が大多数を占めた。
- ON・2年国債の金利予想においても、前回・前々回に続いて「不変」と予想する先が約8割強と大宗を占めた。
- 各調査項目において、市場の予想は業態ごとにややばらつきがみられた。

【調査の概要】

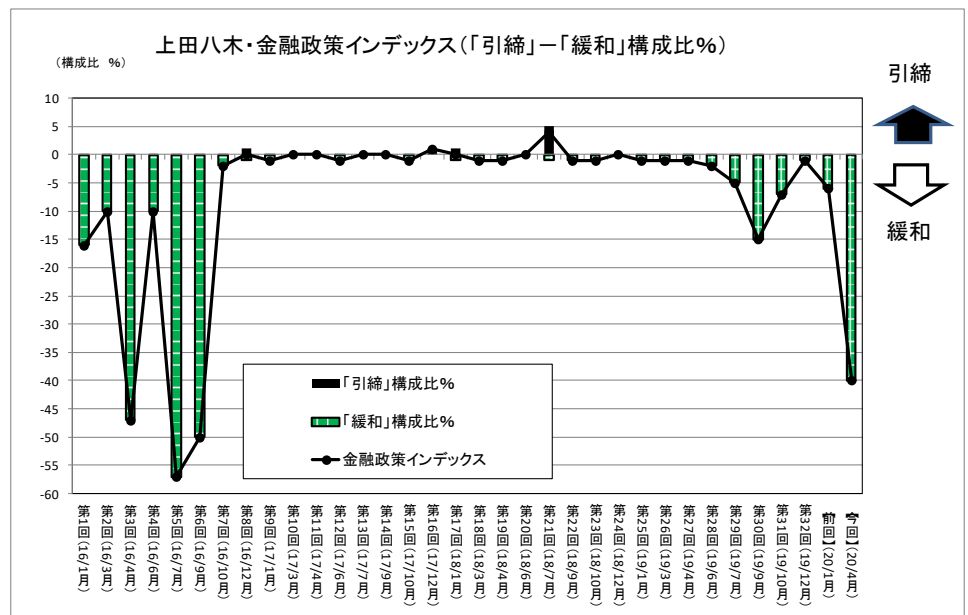
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(172先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2020年4月21日～23日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	82.0% (回答者数141先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(4月27日)における決定について

回答者の60%が「不変」の見方。「緩和」の見方は40%。「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲40」(前回は▲6)であった。



お知らせ：当サーベイは、日本銀行の金融政策決定会合の4～2営業日前に調査を行い、前営業日に公表していますが、2020年3月18・19日に開催予定であった同会合が、3月16日12:00に前倒しで開催されたことに伴い、同月のサーベイの実施は見送りました。

(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

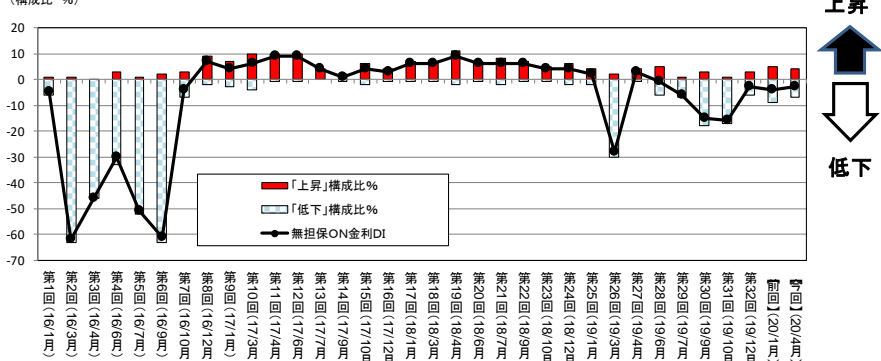
回答者全体の7%が「上昇」と予想、4%が「低下」を予想、「不変」とみている先は89%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回5%→今回4%)。

「低下」とみる先は▲2%ポイント(前回9%→今回7%)。

「不変」とみる先は+3%ポイント(前回86%→今回89%)。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

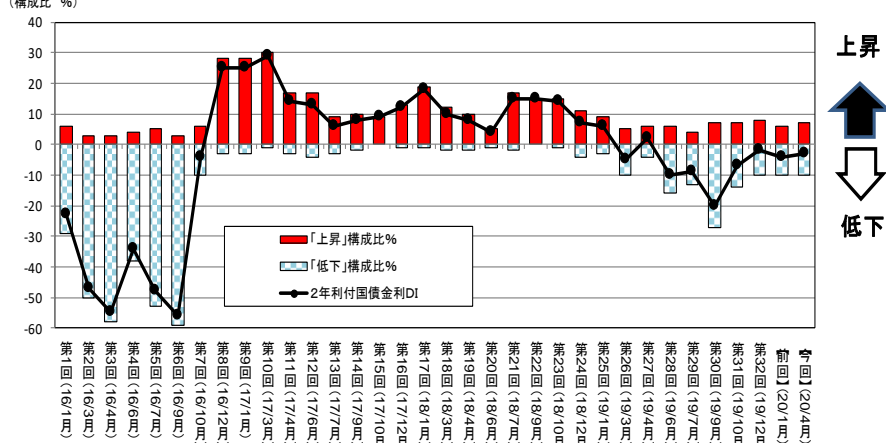
回答者全体の7%が「上昇」を予想、10%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は83%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回6%→今回7%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回10%→今回10%)。

「不変」とみる先は▲1%ポイント(前回84%→今回83%)。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

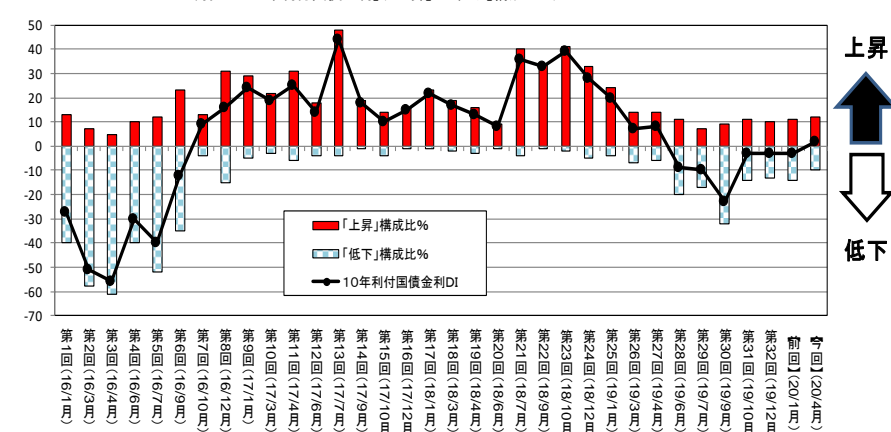
回答者全体の12%が「上昇」を予想、10%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は78%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回11%→今回12%)。

「低下」とみる先は▲4%ポイント(前回14%→今回10%)。

「不変」とみる先は+3%ポイント(前回75%→今回78%)。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



【本調査に関する照会先】企画部 島本、嶋瀬 (電話 03-3272-0293)